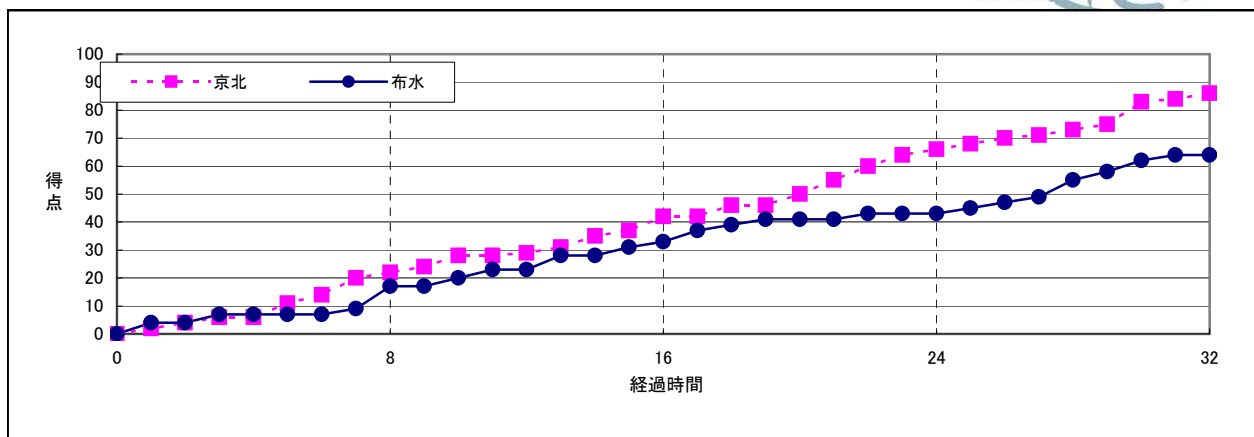


試合区分	2日目 男子 HBコート第6試合 決勝トーナメント2回戦			
日時	8月24日(日) 16:10 ~			
会場	東総合スポーツセンター			
結果	京北	86	22 1st 17	布水
	東京		20 2nd 16	
			24 3rd 10	石川
			20 4th 21	
			OT	
審判	主審 田邊 真由美	副審	石川 淳也	



【個人トータル表】 ×=スターティングメンバー / =出場選手 空欄=出場なし

京北							
No.	選手氏名	Pl-in	得点	3 P	2 P	F T	反則
4	田 渡 凌	×	49	3	20	0	2
5	池田慶次郎	×	9	1	1	4	3
6	菅野 遥亮	/	0	0	0	0	1
7	佐々木祥太	/	0	0	0	0	1
8	馬場 凱士	/	0	0	0	0	0
9	加 山 聖	/	0	0	0	0	0
10	河内悠一郎	/	2	0	1	0	0
11	高 橋 涼						
12	西山 誠也						
13	岡田大貴	/	0	0	0	0	0
14	伊藤 達哉	×	1	0	0	1	1
15	三上 健人	×	4	0	1	2	5
16	木 林 毅	×	15	0	5	5	3
17	石 原 卓	/	0	0	0	0	0
18	新川 敬大	/	6	0	3	0	1
監	田代直人						
C	田渡敏信						
合計			86	4	31	12	17

布水							
No.	選手氏名	Pl-in	得点	3 P	2 P	F T	反則
4	山瀬 一希	/	1	0	0	1	0
5	川東 聖司	×	4	0	2	0	2
6	山本 浩也	×	15	0	7	1	3
7	清水 祐志	×	28	6	3	4	2
8	村井 陸佑	/	0	0	0	0	1
9	吉田 雄哉	/	0	0	0	0	0
10	田中 勇輝	/	1	0	0	1	2
11	安田 恵大	/	0	0	0	0	0
12	山下 達彦	×	6	0	2	2	5
13	中田 圭亮	/	0	0	0	0	1
14	大西 雄真	/	0	0	0	0	0
15	川東 麟太郎	/	0	0	0	0	0
16	黒崎 将史	/	0	0	0	0	0
17	小寺 翔太	/	0	0	0	0	1
18	森井 健太	×	9	2	1	1	4
監	黒島 啓之						
C	中村 祐樹						
合計			64	8	15	10	21

3 P = 3ポイントシュート 2 P = 2ポイントシュート F T = フリースロー

決勝トーナメント1回戦を107得点で快勝した京北と接戦を制した布水の対戦。
 1Q、京北は2-2-1オールコートゾーンプレスからの2-3ゾーンDef、布水はハーフマンツーマンDefでスタート。トスアップ直後から激しい攻防が繰り広げられる。京北は#4のドライブや3Pでテンポ良く加点すれば、布水も#7、#18の3Pで応戦。京北22-17布水で1Qが終了。
 2Q、布水はマンツーマンをオールコートに広げ、さらに京北#4にフェイスガードを仕掛け追撃を試みる。布水#7の連続3Pが決まり、残り3分になったところで29-28の1点差まで詰め寄る。京北はたまたまタイムアウト。その後京北のゾーンプレスが効き、布水にミスが出始める。京北#4はインサイドにポジションを取り得点差を徐々に広げていく。布水も#7の3Pで耐えるが、京北42-33布水で前半終了。
 3Qは布水の連続ポイントで始まる。#5、#6のインサイドでのプレーで京北のゾーンDefを攻略し始めた。しかし、京北は再度Defのプレッシャーを強めターンオーバーを誘発し、速攻を連発して一気に流れを引き戻す。残り3分 57-41で布水がタイムアウト。流れを変えようとするが、アウトサイドからのシュートもゴールに嫌われ京北の流れは止まらない。京北66-43布水で3Q終了。
 4Q、追い上げを試みる布水は、ダブルチームを積極的に仕掛ける。Offでは#5、#6が果敢にインサイドを攻めるが、開始1分不運にも#5が負傷してベンチに下がる。それでも布水は諦めることなくDefで激しいプレッシャーをかけて活路を見出そうとする。その後も攻守の切り換えの速い激しい攻防が繰り広げられたが、個人技の高さとスピードとパワーに勝った京北が86-64で勝利を収めた。チーム一丸となって最後まで闘志あふれるプレーをした布水の健闘も讃えたい。